



古野清秀さんの功績を たたえる銘板を除幕

4月27日(出)、南有馬の古野憩いの広場において、世界で初めて魚群探知機を実用化した古野電気の創業者であり、本市の名誉市民でもある古野清孝さんと清賢さんの祖父、故古野清秀さんの功績をたたえる銘板の除幕式が行われました。

清秀さんは、小学校で教諭や校長として勤め、昼夜を問わず親切な教育を行い、生徒から父のように親しまれ、県知事賞を受けました。この功績を後世に伝えようと明治44年に漢文調の頌徳碑が同広場に建てられましたが、碑文を分かりやすく紹介しようと、南有馬の有志が読み下し文を記した銘板を設置し、この日披露されました。



いつまでもお元気で

～100歳おめでとうございます～



荒木トシコさん(北有馬町)
大正2年5月6日生まれ



孝子の心をいつまでも

4月24日(水)、加津佐町津波見で孝子祭が行われました。

これは、親思いの孝子、安永安次さんの命日である24日に、地元実行委員会の主催で行われているもので、この日は約70人の地域住民が参加しました。

安次さんは、江戸時代に実在した人で、親孝行ぶりを評価され、本朝孝子伝の24孝の1人に選ばれています。貧しい暮らしの中にあっても親に孝行を尽くし、社会的責任を果たすなど地域の規範でした。津波見地区は、こうした優しい心が広がり、思いやりと優しい心で接する孝子の里となりました。



届け！復興への絆

4月28日(日)、布津のこんぴら公園でこんぴら公園まつりが行われました。

春と秋の年2回行われているこの祭りは、平成7年に地元有志の働きかけによって復活した祭りです。

布津無双太鼓を始め、市内外からの和太鼓グループの演奏や、鮮魚、こんぴらまんじゅうなどの販売でにぎわいました。

この祭りで出た収益金は、東日本大震災の被災地、宮城県南三陸町へ贈られます。

Focus in 南島原 まちの話題



長〜い そうめん流し

4月29日(月)、ありえ碓石自然運動公園で、自然と遊ぼう2013が行われました。

自然の中で、学校、家庭、地域社会が一体となったさまざまな体験と交流により、ふるさとを愛する心を育もうと毎年この時期に開催されています。

この日は、多くの家族連れが訪れ、遊具で遊んだり、お弁当を広げて食べたりと思い思いに楽しみました。そして、メインイベントは100mのそうめん流し。来場者は、本市特産品のそうめんを美味しく食べていました。



滝つぼで食べるそうめんは格別

5月4日(出)、西有家町長野地区の自治会などでつくる実行委員会の主催で、第45回戸の隅公園滝祭りが行われ、市内外からの人や故郷に帰省した人たちににぎわいました。

滝つぼで行われたそうめん流しは、戸の隅の滝を見ながら食べられる絶好のロケーション。来場者は、そうめんに箸を伸ばす回数が増えているようでした。また、同公園では、長野小学校の児童による合奏や、長野保育園児による踊りなど、多彩な催し物が披露されました。



特集：食について考えよう(4～5)



明日の世界遺産(8～9)



国際交流員着任(25)

CONTENTS

まちの話題	2～3
特集：食について考えよう	4～5
歯と口の健康週間	6～7
マリンフェスタinくちのつ	7
明日の世界遺産	8～9
南島原にゆーす	10～19
復興への絆	20
島原半島世界ジオパーク	21
くらしの情報	22～23
南島原市図書館だより	24
国際交流員コラム	25
保健事業のご案内	26～27
市民カレンダー	28